

二 部 地 区 活 性 化 だ よ り

野上川の風

発 行
二部地区活性化推進機構

編 集
総 務 部 会

事 務 局

〒689-4233
西伯郡伯耆町二部1562-1
二 部 公 民 館 内
TEL・FAX 0859-62-7159



トリックオアトリート！

ハロウィン イベント



10月27日（土）二部公民館でハロウィンイベントを開催しました。

ファンクラブ部会が主催し、二部梁山泊、だんだんプロジェクトなど二部の若い世代のグループの協力をいただきながら、イベントを行いました。

はじめに、参加した子どもたちは思い思いに化粧などをしながら、ハロウィンの仮装をしました。その後、二部の町にくり出し、あらかじめお願いしていた家で「トリックオアトリート」と掛け声をかけながら、お菓子を受け取り、町中を練り歩きました。

当日は、二部の方々も戸口に立ち、子どもたちの仮装行列を楽しそうに見学されていました。二部の町に子どもたちの楽しそうな声が響き、交流が生まれた良いイベントとなりました。

会 活 動 報 告

総務部会

部会長 足澤 秀基

平成30年度総務部会が担当した事業は、二部地区活性化推進機構20周年記念大会の運営と広報公聴の活動をするものでした。

特にこの度は、20周年記念大会に重点を置くということで、30年度当初から構想を持って取り組みました。

役員のみなさんの協力により、記念式典と二部地区親睦会の開催を目指すとの計画で、親睦会担当部と式典担当部を立ち上げ、夏休み中を目的に開催することを決定しましたが、親睦会会場に予定していた二部小学校駐車場が伯耆町消防団第2分団車庫移転工事のため、夏休みから平成30年度末まで使用できないことから親睦会は開催せず、記念式典のみの開催となりました。

11月4日の式典当日は、町長、議長、東亜青果社長のご臨席のもと、本機構の初代会長に就任され、今日まで活性化の活動に大変ご尽力いただいた住田泰さんに感謝状と記念品が贈られました。その後の講演会では、講師の山田晋先生から、「今後も二部地区の活動状況に一層信念を持って進んで欲しい」と力強いエールをいただきました。

平成30年度を振り返り、総務部会の担当だった記念式典は役員のみなさんや事務局の協力で無事終えることができました。来年度は、総務部会の主題である広報広聴、情報発信に努力してまいります。

産業振興部会

部会長 金田 宏

平成30年度産業振興部会の活動実施内容を報告します。

1. 農産物等の集荷支援について

4月23日から5月7日までの毎週月・木曜日に、松下食品ヘタケノコを出荷しました。今年度はトータルで1,782キログラムの出荷があり、豊作の年となりました。また、その他の野菜などの農産物も2名の方が東亜青果へ出荷しました。

この取り組みは、今後も行っていくしますので、希望される方は部会員や事務局に問い合わせをお願いします。

2. 盆花販売イベントについて

8月11日に、出店者2名で盆花の販売イベントを行いました。この日は、アスターやシブキなどを販売し、早朝のイベントにもかかわらず、多くの方に購入いただきました。

3. 農産物等の栽培支援について

30年度も前年度と同様に玉ねぎ苗の購入補助を行い、11月に協力農家へ玉ねぎ苗2万本を配布しました。

この苗から収穫できた玉ねぎは、給食センターや青果市場に出荷される予定です。たくさんのお荷につながりますよう、順調に生育してくれることを願っています。

4. ふるさと小包便について

今年度もふるさと小包便の販売を夏冬2回実施し、夏と冬に60箱ずつ販売しました。首都圏や関西にも発送し、広く二部の味を全国に届けることができました。

今後も魅力的な商品をそろえながら、二部の良さを知ってもらおう小包便になるように取り組んでいきます。



住みよい環境部会

部会長 山本 芳史

住みよい環境部会では、秋から冬にかけての活動としては特に、高齢者、障がい者の方の花回廊でのボランティア活動や12月に80歳以上の一人住まいの方にクリスマスプレゼントを配布しました。部会員の協力を頂いて手分けをして訪問し、受け取って頂きました。毎年の活動として、一斉清掃や外来種の駆除など皆さんの協力を頂いてやっています。一斉清掃で少しづつゴミは減っているようです。しかし、ゼロにはなりません。

外来種の駆除は、毎年、花が咲く迄なかなか分かりませんが、駆除しても取り切れないのが実情です。毎年、100kg以上の量を取っていますが、無くなりません。

これから、地域の生活環境が少しでも良くなるように、地道にこの活動を続けてやっていこうと思いますので、ご協力をお願いしたいと思います。



平成30年度

各 部

健康スポーツ部会

部長 住田 浩平

健康スポーツ部会では、誰でもできるスポーツで健康づくりをテーマに、楽しく身体を動かすイベントを開催しました。

6月には、日野町鵜の池周辺で健康ウォーキングを開催し、参加者どうしでおしゃべりしながら池を一周しました。お昼には天ぷらを揚げて楽しく食事をしました。

9月には、ささふく水辺公園でグランドゴルフ大会を開催しました。一見、簡単そうに見えますが、なかなか奥が深いスポーツですので、初心者から上級者まで誰もが一緒に楽しめる競技です。多数のご参加をお待ちしています。

12月には、二部体育館でカローリング大会を開催しました。当初7月を予定していましたが、台風の接近が予想されたため中止し、12月に改めて、開催したものです。カローリングは冬季オリンピックで有名になったカローリングにヒントを得た屋内競技で、誰でも楽しめる手軽なスポーツです。参加者の笑顔があふれる楽しい大会となりました。



今後、二部地区の皆さんの元気と笑顔がふれる企画を計画していきますので、子どもからお年寄りまで多数ご参加いただきますよう、よろしく願います。

歴史ガイド部会（本陣足羽家）

部長 忠田 延雄

祖先は越前の大名朝倉氏に属し、足羽（あすわ）郡に居住する。丸に二つ引きの家紋は將軍足利義昭より賜ったという。

家伝によれば永禄年間（1558）配下の三騎を従えて足羽將監重成は縁故をたどって、二部に來住し要害山に砦を構え、二部足羽家の初代になった。二部地区は古來より交通の要所として栄え江戸時代には出雲街道として松江藩が参勤交替の折には宿として利用された。

足羽家の歩んだ歴史を簡記すると、3代目理兵衛の頃要害の城が火災で下山現在の家に、出雲の領主梶尾氏や米子城主中村氏の宿舎として提供、5代目五兵衛の頃松平出羽守來以後本陣として勤める。8代2代目助八の頃二部傳燈寺を中興開基、12代伊右衛門四男篤之助は戊辰の役で鳥取藩官軍鉄砲隊長として参戦宇都宮で戦死28歳、15代富隆広太長男長女たねは二部小初代校長毛利八弥の妻となる。17代喜代子氏は平成23年4月没建物や周辺を修復復興。古い足羽家について何回も二部公民館等で勉強してきた。平成の中期から野上川を左右に出雲街道、富田街道、備後街道とその地域

周辺を参考に29年4月に亡くなられた元二部公民館長安達允さんを中心に勉強会を開いた。

27年4月から元館長の努力により二部地区活性化推進機構の中に歴史ガイド部会が誕生した。これも元館長の並々ならぬ努力と大いに知見を広められ郷土愛と進取の気性に富み、特に、故喜代子氏には傾倒ひたすら熱中され、私たち部員のみならず活性化会員全てに前向きに取り組んで頂きましたことに心から感謝し哀悼の意を表すものです。

歴史の会発足以来定例会は50回を数えるに至りました。二部を知ってもらうことを目的としイベントの中に各種団体の受け入れ、足羽家説明会、各種団体との交流、二部小児童との勉強会等々、年々二部地区山里への散策のお客さまも増えてきました。

また、出雲街道三部入り口から間地区入り口までに六基の道標を建立しました。この道標周辺の草取り、草刈り又、塗装等の手入れ管理をしています。

これからも他地域の方々との交流と住民相互の連帯と自主性を基本とし、地域の活性化を図り、明るい歴史ガイド部会となるよう努めて参ります。

ファンクラブ部会

部長 車 睦宏

ファンクラブ部会では、世代間交流を通じて、地域を元気にしようと各事業に取り組んできました。

平成30年10月27日に開催した、ハロウィンイベントでは、子どもたちがハロウィンの仮装をし、二部の町を練り歩きました。あらかじめお願いしていた家でお菓子をもらいながら町を歩く、にぎやかな子どもたちの姿に、沿道の大人たちも笑顔があふれる充実したイベントとなりました。今後、世代間交流や、他地域との交流を続けながら、二部地区のファンを増やせばと思いますので、皆様のご協力とご参加をお願いします。



二部地区活性化推進機構創立二十周年によせて

一部地区活性化推進機構 会長 藤田 常雄

平成三〇年二月四日。一部地区活性化推進機構の設立二〇周年式典を、森安町長、篠原議長、東亜青果(株)秦野社長のご臨席をいただき開催致しました。

式典では本機構の設立から初代会長として献身的に取り組んでいただいた住田泰さんに感謝状と記念品を贈らせていただきました。

一部地区は過疎、高齢化が進み次第に活力が無くなり、極端な言い方ですが、このままでは一部が消滅するのではとの危機感があり、住田泰さんを中心とするメンバーが「住民相互の連帯と自主性を基本とし地域の活性化をはかり明るい地域づくり」を目的として設立され、以後活動を重ねてまいりました。

設立翌年の平成二二年一〇月六日、鳥取西部地震が発生し一部地区も大きな被害を受けましたが、会員のボランティアによる被害家屋の片付け等の支援にも取り組んで来しました。

今少し小遣いがほしい、月五万円あればとの声もあり「共生の里づくり」事業に参加し、東亜青果、松下食品の協力をいただき、山菜、野菜等の出荷にも取り組むとともに「ふるさと小包」や「山菜賞味会」の開催しております。

環境美化にも力を入れ道路のゴミ拾いや河川の草刈りの実施。健康寿命を延ばすための取組として「健康ウォーキング」の開催や、簡単なスポーツの開催などにも取り組むとともに一人暮らしの高齢者への訪問も行っています。

地元の方が、地域の歴史や、資源を知らないのでは、またこれらを大いにPRし、交流人口を増やすべきだとの指摘もあり「歴史ガイド部会」を設け住民の方への啓蒙や来訪者への説明等に取り組んでいるところです。

実施した事業の中で特筆されるのは平成二〇年から日本海新聞に連載され後に単行本として刊行された「出雲街道今昔物語」と平成二六年に昭和二年編纂の「二部村郷土調査」の復刻版を刊行したことです。これらは一部部の歴史を伝える資料として重宝されております。

また、過疎、高齢化が進み地域の農業が維持できなくなるのではとの危機感があり集落営農への取組みも必要になってまいります。そうした中、福岡中央では集落営農への取組を実施され他の集落のモデルもできております。

今後も一部地区活性化推進機構では、大人も、子供も生き生きとした暮らしが出来る様、当初の目的に沿って活力のある地域作りに今後も取り組んでまいりますので、ご支援と参加をお願いします。

活動日誌

《月日》	《内 容》	《月日》	《内 容》
4月02日	歴史ガイド部会現地研修(出雲街道調査谷中・津地ルート)	8月11日	盆花販売イベント
4月23日	タケノコ集出荷開始	8月30日	歴史講演会(講師 小田隆氏・宜堂と純亭)
4月25日	活性化機構委員総会	9月10日	野上川の風発行
4月25日	野上川の風発行	9月16日	グランドゴルフ大会
5月10日	ドーム菊苗配布	10月22日	高齢者障害者支援(とっとり花回廊)
5月24日	健康ウォーキング(鵜の池周辺)	10月27日	河崎公民館まつり出店(2日間)
5月24日	野菜出荷	10月27日	ハロウィンイベント(仮装行列)
5月26日	外来種駆除	11月04日	活性化機構設立20周年記念事業(講師 山田晋氏)
6月11日	間地峠草刈り管理	11月11日	歴史ガイド部会現地研修(矢掛町大名行列視察)
6月14日	高齢者障害者支援(とっとり花回廊)	11月18日	秋の一斉清掃
6月15日	歴史ガイド部会現地研修(日野町黒坂)	11月25日	秋の賞味会
6月16日	友愛訪問(おもてなし弁当)	12月08日	カロリーニング大会
6月17日	出雲街道道標管理	12月14日	ふるさと小包便発送(60箱)
6月17日	一斉清掃	12月15日	友愛訪問(クリスマスプレゼント)
7月20日	ふるさと小包便発送(60箱)	2月23日	たたらまつり(3日間)